

令和4年度 学校評価アンケート(教職員自己評価)

回答数11/11名 回収率100%

別紙1

令和4年12月19日

○評価種別

達成状況:生徒や保護者・地域住民などへの目標の達成の程度

取組の適切さ:目標に対する教職員の取組の程度

○評価区別

A:十分である(4点) B:おおむね十分である(3点) C:やや不十分である(2点) D:不十分である(1点) E:わからない(平均集計外)

対象	目標達成のための評価の観点(学校評価(自己評価)項目)	達成状況					評価			取組の適切さ					評価			平均			中間						
		A	B	C	D	E	評価	平均	中間	A	B	C	D	E	評価	平均	中間	A	B	C	D	E	評価	平均	中間		
学習指導	1 「本時の目標」の明示や「振り返り」により生徒に見通しを持った学習と定着を促せたか。	0	9	2	0	0	B	2.8	2.8	1	8	2	0	0	B	2.9	2.8										
	2 ICTを効果的に活用した授業改善に取り組んだか。	1	4	6	0	0	C	2.5	2.5	1	4	5	1	0	C	2.5	2.7										
	3 教科横断的な視点で授業改善に取り組んだか。	1	4	5	1	0	C	2.5	2.3	1	4	4	2	0	C	2.4	2.3										
	4 生徒の授業満足度は高いか。	0	9	1	0	1	B	2.9	2.9	0	9	1	0	1	B	2.9	2.9										
	5 受験に必要な学力向上が果たせたか。	1	4	3	2	1	C	2.4	2.1	1	5	4	0	1	B	2.7	2.3										
	6 ルーブリック評価の活用で意欲を喚起できたか。	0	0	11	0	0	C	2.0	2.0	0	2	9	0	0	C	2.2	2.2										
生徒指導	7 美しい礼儀・言葉・挨拶を身につけたか。	1	8	2	0	0	B	2.9	2.8	1	9	1	0	0	B	3.0	3.1										
	8 表現力を育成する機会を設定できたか。	1	6	4	0	0	B	2.7	2.8	1	9	1	0	0	B	3.0	3.0										
	9 生徒会や委員会の日常活動が活発だったか。	1	7	3	0	0	B	2.8	2.5	1	8	2	0	0	B	2.9	2.3										
	10 生徒が活躍する場面を多く設定できたか。	0	8	3	0	0	B	2.7	3.0	0	10	1	0	0	B	2.9	3.0										
	11 いじめの可能性を積極的に認知したか。	1	10	0	0	0	B	3.1	3.0	2	8	1	0	0	B	3.1	3.1										
	12 ネットトラブルの防止ができたか。	0	3	6	2	0	C	2.1	2.5	0	5	4	2	0	C	2.3	2.6										
	13 生徒個々の悩み等に寄り添えたか。	1	10	0	0	0	B	3.1	2.9	2	8	1	0	0	B	3.1	3.0										
	14 アセス・ほっとを有効に活用できたか。	0	8	2	1	0	B	2.6	2.6	0	8	3	0	0	B	2.7	2.6										
進路指導	15 進路シラバス等に基づき職業生活への自覚と意欲を育成できたか	1	8	1	0	1	B	3.0	2.6	1	7	2	0	1	B	2.9	2.6										
	16 キャリアパスポートを有効に活用できたか。	0	4	5	1	1	C	2.3	2.4	1	2	5	2	1	C	2.2	2.3										
	17 進路目標の早期設定と、系統的な受験・面接指導ができたか。	1	7	3	0	0	B	2.8	2.5	1	8	2	0	0	B	2.9	2.6										
	18 進学希望者への学習支援(アカデミックタイム含)は十分だったか。	0	7	3	0	1	B	2.7	2.7	0	7	3	0	1	B	2.7	2.8										
	19 就職者の全員内定が得られたか。	2	5	3	0	1	B	2.9	3.0	1	6	3	0	1	B	2.8	2.5										
健康安全指導	20 委員会活動や生徒会活動と連動させ、生徒の主体的な美化活動を推進できたか。	1	9	1	0	0	B	3.0	2.5	1	9	0	1	0	B	2.9	2.7										
	21 いじめのない学校生活を保障できたか。	1	3	7	0	0	C	2.5	2.7	1	5	5	0	0	B	2.6	2.8										
	22 各種講話は生徒の意識高揚に寄与したか。	4	7	0	0	0	B	3.4	3.3	3	7	1	0	0	B	3.2	3.2										
	23 コロナ感染防止対策を徹底できたか。	2	8	1	0	0	B	3.1	3.2	2	9	0	0	0	B	3.2	3.2										
信頼される学校づくり	24 生徒・保護者の思いや地域ニーズを積極的にとらえ、その対応が十分だったか。	1	10	0	0	0	B	3.1	2.8	0	11	0	0	0	B	3.0	2.8										
	25 地域の特性を活かした体験活動を推進することができたか。	2	7	2	0	0	B	3.0	3.0	2	7	2	0	0	B	3.0	3.1										
	26 家庭への連絡を密に行なったか。	2	7	2	0	0	B	3.0	3.1	2	7	2	0	0	B	3.0	3.2										
	27 地域やPTAとの関わりに積極的だったか。	2	8	1	0	0	B	3.1	3.0	2	8	1	0	0	B	3.1	3.0										
	28 地域人材の教育力を導入できたか。	2	8	1	0	0	B	3.1	2.9	2	8	1	0	0	B	3.1	2.9										
	29 社会に開かれた教育課程の実現に向けて計画的に取り組んだか。	1	8	2	0	0	B	2.9	2.7	1	7	3	0	0	B	2.8	2.7										
	30 HPの更新、記事提供に積極的に関わられたか。(担当領域における記事の作成等)	0	5	4	1	1	C	2.4	2.8	1	6	4	0	0	B	2.7	2.9										
	31 本校の教育活動は、生徒や保護者の信頼を得ているか、また説明は十分か。	1	10	0	0	0	B	3.1	2.9	1	10	0	0	0	B	3.1	2.9										
組織運営	32 「報告・連絡・相談」を密にして職員間の連携に努め、組織的な取組ができたか。	0	9	1	0	1	B	2.9	2.9	0	10	1	0	0	B	2.9	3.1										
	33 GPを理解して教育活動に取り組んだか。	0	3	6	0	2	C	2.3	2.4	0	4	5	0	2	C	2.4	2.5										
	34 働き方改革を意識した業務の効率化に努めたか。	1	5	3	1	1	B	2.6	2.8	1	5	3	2	0	C	2.5	2.5										
	35 魅力化プロジェクトに積極的に参画したか。	0	3	5	0	3	C	2.4	2.7	0	4	5	0	2	C	2.4	2.6										
	36 中間・年度末反省や学校評価結果を元にPDCAサイクルを機能させたか。	0	7	3	0	1	B	2.7	2.3	0	9	2	0	0	B	2.8	2.3										
	37 次年度の教育課程は改善できたか。	0	2	6	0	3	C	2.3	2.6	0	3	6	1	1	C	2.2	2.4										
教職員の資質向上	38 学習指導要領の改訂趣旨を理解しているか。	1	7	2	0	1	B	2.9	2.7	2	7	1	1	0	B	2.9	2.8										
	39 校外研修等に積極的に参加したか。	2	6	2	0	1	B	3.0	2.8	2	7	2	0	0	B	3.0	2.8										
	40 生徒・保護者が納得する教育実践ができたか。	1	7	1	0	2	B	3.0	2.7	1	8	2	0	0	B	2.9	2.8										
	41 教育者としての品格を保ったか。	2	7	0	0	2	B	3.2	3.0	3	8	0	0	0	B	3.3	3.1										
	42 同僚の信頼を得る言動をとっているか。	3	6	0	0	2	B	3.3	2.9	3	8	0	0	0	B	3.3	3.1										
	43 不祥事防止への強い自覚を持ち、周囲に対する啓発を行っているか。	1	8	0	0	2	B	3.1	3.4	3	8	0	0	0	B	3.3	3.4										

評価については、各項目の平均点によって算出した。  
A 4.0~3.6  
B 3.5~2.6  
C 2.5~1.6  
D 1.5~1.0

2.8 2.7

2.8 2.8

**(裏面)特記事項記述欄**

(今回教職員からの記載はありませんでした)

**【アンケート結果の概況】**

- 1 評価AおよびDの項目はない。
- 2 表の色分けは次のとおり(向上、下降は中間評価との比較)

	評価Bで平均値が3.3以上の項目
	評価Cから評価Bに向上した項目
	「達成状況」「取組の適切さ」がともに評価Cから評価Bに向上した項目
	評価Bから評価Cに下降した項目
	引き続き評価Cの項目
	「達成状況」「取組の適切さ」がともに評価Bから評価Cに下降した項目
	標語Eが全体数の半数以上の項目(該当なし)

- 3 中間評価と比較し評価が向上した項目、逆に評価が下降した項目、および継続して評価Cであった項目について各部署で取組の在り方について検討することが必要である。

**【「年度末反省会議」に向けた今後の流れ】**

- 1 教職員個々で結果を確認するとともに、自らが担当した業務について「課題」「改善方策」等について検討してほしい。
- 2 各部署ごと(分掌・学年・委員会等)で学校評価の結果を参考にして、ここまでの組織的な体制・取組の「課題」「課題の改善方策」等について検討してほしい。